

# 子どもを核として人と人とをつなぐ取り組み

## 佐久市中央公民館(長野県)



「乳幼児学級」～入園までの子どもたちの自然体験～



「終活講座」～佐久大学看護学部の学生と地域の高齢者の交流

### 公民館の沿革・年表

- ◇昭和36年：浅間町、東村、野沢町、中込町の合併により旧佐久市が誕生。浅間・東・野沢・中込の各公民館が発足
- ◇平成17年：旧佐久市、臼田町、浅科村、望月町の合併で新生佐久市が誕生。臼田・浅科・望月の3公民館が発足
- ◇平成27年：中央公民館発足に伴い、7公民館は「地区館」となり、市公民館は中央公民館を拠点として7地区館（浅間・東・野沢・中込・臼田・浅科・望月）の構成となる
- ◇平成27年～令和5年：市民創錬センター、浅間会館、東会館、浅科会館、生涯学習センターの建替

### 左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

佐久市公民館は、乳児から若者に至るまで、様々な機会に公民館活動に参加し、大人世代と交流できる仕組みを作っている。具体的には、乳児の「ベビーマッサージ教室」や幼児の「乳幼児学級」、小学生の「親子ふれあい学級」「小学生公民館体験学習」「夏の子ども公民館」、中学生の「短詩型文学祭交流会」「つどい（文化祭）のボランティア」、中・高生の「学習室利用」、高校生の「インターンシップ」、大学生の「学習グループとの交流」「公民館活動のボランティア」等である。子どもだけでなく大人世代や地域社会の活性化も願っている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	97949人	3. 来館者のインターネット接続環境	有線・無線の両方
		2. 建物設置年月日	平成27年8月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	120台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 3027人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 32761人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 740人    合計 36,528人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ( )				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 1人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人    職員のうち社会教育士の数 0人 )    合計 8人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 中央公民館を拠点として市内の7地区館が一体となって運営している。 )				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

### 佐久市中央公民館

OPEN 8:30～22:00  
TEL 0267-66-0551

H P <https://www.city.saku.nagano.jp/kyoiku/shogai/kominkan/index.html>  
SNS





## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- ◇佐久市公民館の課題のひとつに参加者の固定化・高齢化があり、「若い世代や男性の参加促進」を目標に掲げている。  
(令和4年度の学習グループ所属の男女比は1:3。60代以上が8割以上を占める)
- ◇少子高齢化の進展に伴い、地域の宝である「若年層」と生きがいとふれあいを求める「高齢層」をつなげる取り組みが求められる。(令和2年度の市の高齢人口30.2%、年少人口12.9%)
- ◇子どものうちに関わることで生涯を通じて公民館活動や地域活動に参加しやすくなる。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

◇右上の写真は、乳幼児学級のひとこまである。令和4年度は親子74組160人の参加を得、年間をとおして「自然とのふれあい」「リズム体操」「幼児期の食育」「教えて！ドクター」等13回の学級を開催した。過去3年間はコロナ禍の中、子育て仲間を作りにくい環境に置かれ、母子で閉じこもりがちだった子育て世代に「仲間づくり」をテーマに掲げた乳幼児学級の存在意義は大きい。

参加された保護者から「コロナ禍の影響で家にいる時間が多かったけど乳幼児学級で同じ年頃のお友達やお母さん方と交流できて楽しかった」「私自身県外出身かつコロナ禍の中の子育てでしたので温かく迎えてくださる先生方、同じママとのコミュニケーションにとっても救われた」等の感想を得ており、ここで知り合った仲間で他の活動にも参加するなど、子育て仲間の輪は確実に広がっている。今後も大切にしていきたい活動である。



乳幼児学級のテーマは「仲間づくり」

◇右下の写真は、夏の子ども公民館の活動のひとつ「川で宝石を探そう！」のひとこまである。令和4年度は7～9月にかけて親子（小学生）を対象とする「ものづくり」「自然・社会体験」等の23講座を設定した。日常の学校生活の中ではなかなか体験できない野外学習や本格的な工作等に浸りこむ子どもたちの姿が見られ、全市を対象にしていることで、学校の枠を越えて関わり合う子どもたちの姿が見られる。



夏の子ども公民館～川で宝石を探そう！

## 3. 取組による成果や効果

成果の一例として臼田中学校3年生105名と公民館学習グループ【空手】【俳句】【はつらつ運動】の皆さんとの交流の成果を挙げる。活動後、中学生からは「楽しい体験ができクラスのみならず久しぶりに笑い合うことができた」「おば様方、すごくキレッキレでかっこ良かった」などの感想があった。学習グループはメンバー全員が参加するなど積極的に関わり、「若いパワーをもらった」等と好評だった。後日、校長先生から「地域のおじさん・おばさん方と話をしたり触れ合ったりすることは今の中学生にとって貴重な体験。時として、校内で教員から話をすること以上に心に響き、子ども達が成長するきっかけとなる。本当にありがたい取り組みだった」との言葉をいただいた。3者にとって有意義なこのような取り組みを毎年小中学校対象に実施。



臼田中学校に向いて「公民館体験学習」

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

講座の受講者には毎回アンケートに記入してもらい、満足度等はその都度集計している。また、各分野17名の委員からなる「公民館運営審議会」を年2回開催し、具体的なデータや参加者の感想等から建設的な意見をいただいている。更には、電子申請による市民アンケートを数年に1度実施している。

改善点は職員会・館長会・主事会等で全職員が共有するとともに、次年度全体計画にも反映させている。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- ・中央公民館と7地区館及び235地域公民館が連携した活動を推進。
- ・評価・検証を行いながら、市民・地域の実情や要望に応える事業を企画。
- ・「集う・学ぶ・結ぶ」の役割を踏まえ、生涯にわたって学び、活かし、支え合う人づくり、地域づくりを推進。



長聖高校インターンシップ受け入れ

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- ・地域の人・もの・ことを知る公民館として小中学校のコミュニティスクールに全面的に協力。
- ・若年層の自主活動や利用を促す仕組みづくりのひとつとして、高齢者対象のスマホ講座等のICT関係講座を高校生、大学生の補助ボランティアから企画・運営に広げていく。



佐久大学1年生と高齢者の俳句づくり